

認定NPO法人こつこつ 7期(2023年6月～2024年5月)報告書

こつこつの7期も無事に終わり、8期になりました。こつこつの活動が8期まで続いたということに心から感謝しています。

どうしてかという、僕たちは一人では何もできないのですが、僕たちの心の声を信じて一緒に支援をしてくださる方がたくさんいるお陰で、こうしてこつこつの活動を続けることができるからです。

一人の力では意思を伝えることが難しくても、僕たちの表情や介助を通しての指の動き・目の動き・口の動きなどから言葉を紡ぎ、それを読み取る人が増えてきたおかげで、僕たちもいろいろなことに挑戦ができるようになってきました。

7期では今まで関わってくださったスタッフの方が続けられなくなるというピンチにも、みんなで考えて助成金を申請して、ボランティアさんを増やしたり、アルバイトを雇えるように計画をするなど、これまでにはないやり方で乗り越えようと頑張っています。

僕たちのように、介助があれば一緒に活動ができるという障害がある人はもっとたくさんいると思います。でもこの活動が止まってしまうと、僕たちだけでなく、そういう人たちもまた何もできない人として生活することになると思うと、やはりここで一生懸命頑張って続けられるようにしたいと思っています。

僕にできることは少ないですが、一緒に活動してくださる方がいるおかげで、続けられることが本当にありがたいと思い、ご支援してくださっている皆様と共に、これからも頑張っていきたいと思っています。

どうかこれからもよろしくお願いします。

当事者理事 里見英則（通訳支援：里見見千子 漢字変換・改行：事務局）



2024年4月の視線入力勉強会にて。この日は午前の部・午後の部に分かれて計8名のメンバーが参加しました。ボランティアさんも多方面へ呼びかけて過去最多の18名が参加してくださいました！ただ、ボランティアさんの人数は回による差が大きく、継続して関わってくださる方を増やすことが課題です。

目次

当事者理事から	1
事業報告	
学習会サロン	2
よりみちサロン	4
普及啓発事業	5
相談・サポーター派遣事業	6
会計報告	7
ご支援をいただいた皆さま	9
書籍紹介	10
今後の活動予定	
8期の理事について	11
ご支援のお願い	12

世界は今！vol.7

講師：小寺裕子さん(NHK同時通訳者)・小寺次郎さん(元外務省員)



広島で行われたG7サミット、ロシアのウクライナ侵攻の現状について教えていただいた後、恒例の○×△クイズで盛り上がりました！Zoomで自宅から参加できる、毎回大好評の企画です。

「見た目判断され、学校では十分な学習ができなかった」「知らないことが多いからもっと勉強したい！」と当事者メンバーは言います。

- ・僕達が知らない生のお話や裏話をしてくれたり、新しい事を教えてもらえるので、毎回毎回楽しみにしています。次郎先生もそうですが、ご自分の体験からのお話なので、本などから得られる知識とは、またひと味違い自分の気持ちにすんと落ちる気がします。(当事者)
- ・世界で今何が起きているのかは、テレビだけではわからないので実際の話が聞ける機会は大切です。これからも参加したいです。(当事者)

当事者研究

ファシリテーター：水谷みつるさん (トラウマリカバリーカレッジあさがや)

企画担当の当事者チームが考えた「自分の思い通りにならない身体について」、そして前回の続きで「将来について」、会場4名／Zoom7名の当事者メンバーで時間いっぱいまで話し合いました。戸惑っていた初参加のメンバーが、仲間たちの話を聞いて最後には納得して発言する場面もあり、当事者研究の力を再認識しました。次回は11月17日(日)です！



@落合第一地域センター／Zoom

- ・やはり当事者研究は楽しいよ。みんながどんな風に考えているのかわかるし、それで僕もまた考えるヒントになるからね。もっともっと掘り下げてみたいよ。正解は自分の中にあるっていうのが、良いね！みんなありがとう！(当事者)
- ・スタッフとボランティアの皆さんのおかげで、ハイブリッドなのに一切不便を感じず、それどころか、会場の空気を感じられたり発言者をアップにさせていただいてご本人の様子や表情がとてもよくわかったりと、ハイブリッドのいいとこどりを満喫できたような感じでした。内容もとても有意義で、この人数に限定されているのはなんてもったいない、初参加の〇〇さんの感動をもっと多くの方に味わっていただきたいと思っていました。素晴らしい時間をありがとうございました。(親)

介助付きコミュニケーション方法 練習会

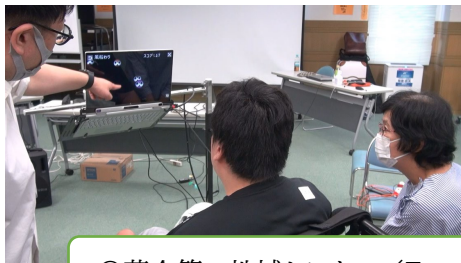
当事者が講師になり、成蹊大学の学生さんなど10名に○×△や平仮名の読み取りを体験していただきました。初めての方とのコミュニケーションはメンバーにとって気力体力が必要なことです。理解者・ボランティアを増やしたいとがんばっています。



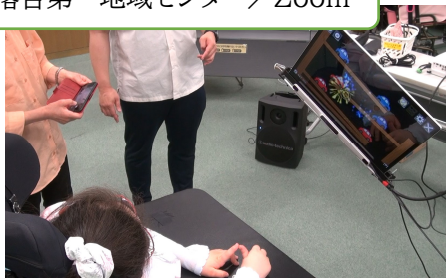
@新宿けやき園

- ・こつこつの皆さんの手を取り、実際に指筆談を体験できとても良い経験でした。読み取れた時、障がい者の方が応えてくれた時、コミュニケーションができたのだと体感でき、とても嬉しかったです。(ボランティア)
- ・短時間で忙しくなくても、いろいろな方と簡単な図形で当事者の方々とコミュニケーションがちゃんととれるということを体感してもらうことは、とても大切で有意義なことだと思いました。(ボランティア)

好評につき今年度は3回開催しました！眼球の動きを検知する装置「Tobiiアイトラッカー」を使い、視線入力訓練ゲーム「EyeMoT(アイモット)」のぬり絵や射的等で楽しく練習しました。個別指導とゲーム大会を行っています。



@落合第一地域センター／Zoom



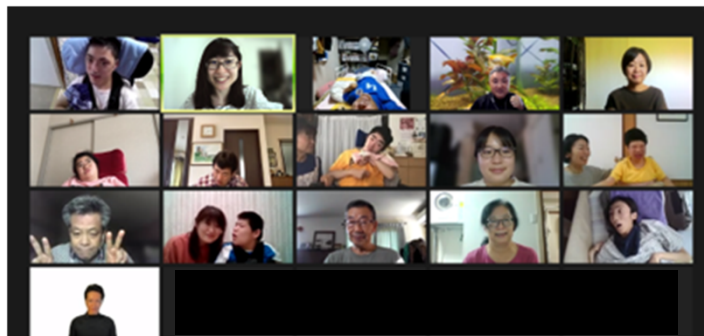
- ・僕は、母から「視線入力はちょっと難しいかもしれないね」と言われていましたが、そんな事はなくて、とても面白かったです。ゲームで遊べるのはとても楽しかったです。(当事者)
- ・私は、視線入力は、今回が初めてでした。こつこつのメンバーの人は、やったことがある方もいたので、初めての私が一緒に参加して、どうなるのかと不安でしたが、わかりやすいゲームでしたので、視線入力を自分で体験して、「あっできるんだ。」と心の中でバンザイでした。本当に、嬉しくて、嬉しくて、嬉しくて、もう最高でした。この視線入力のイベントは、続けて欲しいです。(当事者)
- ・家で練習していても一人だと続けるのが難しいので、みんなと一緒に勉強できる機会があればそれを目標に頑張ります。みんなで一斉にゲームができるようになったら嬉しいです。(当事者)

当事者の親が中心となりみんなで勉強しながら取り組んでいます。毎回セッティングに苦勞しています。パソコンなど機器の操作に強く、継続して関わってくださるボランティアさんを大、大、大募集しています！次回は10月5日(土)です。

テキスト制作委員会

『重度障害者といわれる「私たち」のトリセツー「私たち」と話しませんかー』の実践編の制作のため、Zoomでの話し合いや、自分の介助方法を伝える「マイプロフィール」を作成するワークショップを行いました。

ワークショップは初めての学生ボランティアさんにたくさん参加してもらうことができました。メンバーとの関わりで気づきを得てくださった方が多く、感想を一部ご紹介します！



- ボランティア側が何かをメンバーの方に与えると言うのではなく、メンバーの方が介助付きコミュニケーションについてボランティアに教えてくださると言う形が新鮮でとても面白かったです。
- 介助付コミュニケーションを初めてやらせていただきました。メンバーさん一人ひとりが言葉をもっている、ということが本当に実感として理解できましたし、読み取りに慣れている方を目の前にすると、みるみる文章がこちらに伝わってきて、本当に驚きました。私が担当させていただいたメンバーさんには、初めての私にでも分かるようにゆっくり、はっきり指筆談して下さり、本当に感謝しています。メンバーさんが何回もトライしてくれて、できるようになった時、今までに感じたことのない感動を覚えました。



@新宿NPO協働推進センター

- メンバーの方によってコミュニケーション方法が違うこと、「この方法」を使うことでコミュニケーションの幅が大きく広がることを感じました。「この方法」で伝えていただくと、メンバーの皆さんは私が予想していた以上に多くのことを感じていらっしやるとわかり、驚きを覚えました。
- 発声でのコミュニケーション以外の方法について全くの無知であったため、とても勉強になった。言いたいことを当てるのはかなり難しかったが、伝わったときの嬉しさは大きかった。

住まい・自立 意見交換会



住まい・自立勉強会では昨年度、コレクティブハウスやアパートの見学、先輩の体験談を聞く会などを行ってきました。今後の講演を計画するにあたり、当事者はもちろん親も含めて、思いを聞く機会を作りました。

グループホームで暮らす人、ヘルパーと暮らす人、自宅で暮らす人……まだ未成年の人、親が高齢な人、医療的ケアがある人……三者三様の意見がありました。最後には、そもそも自立とはなにか？という問いも出てきました。



@落合第一地域センター／Zoom

- 私は、いずれは家から出なければならないということは分かっています。でも、コレクティブハウスや施設にしても具体的なイメージや、こうしたいというのが浮かびません。皆さんの意見を聞いて、私ももう少し1人で生活するということを考えなければと思い始めました。自立についての今の所の考えは、「親に頼らないで自分で決めて行くこと。それを人にも伝えていけるようになること。決めたことには自分で責任を持つこと。」です。(当事者)

- 私は、自分にとって自立ってというのは、人と一緒に暮らすことです。一人では暮らせないのはわかっているから、人といっしょに暮らすしかありません。人にどうやって自分のやってほしいことや心配なことを伝えるかが一番重要です。ゆっくりできるようになりたいとは思いますが、家族といつもいられるわけではないから、練習はいると思います。しんどいけどショートステイに行ったりして練習しています。しんどいけど、しんどいって言ってしないといつまでもできないから、練習をしています。ショートステイは、人と一緒に寝るのはできるけど、私と喋ってくれることはできないから、どうしようかなと思っています。練習して文字をパソコンに打てるようになりたいです。(当事者)
- 年齢的に焦る気持ちもありますが、あらためてじっくりと向き合わなければと思いました。(親)



障害があってもなくても一緒に楽しく遊ぼう！
交流事業 **よりみちサロン**

音楽療法／コンサート

講師：西村直人さん(NPOえほんうた・あそびうた代表理事)

協力：新宿区社会福祉協議会



西新宿児童館での子どもたちとの遊び場づくりは引き続きお休み中ですが、2か月に1回オンラインでのサロンと、2回のイベントを行いました！

コンサートでは「ようかいうたにチャレンジ！」として、皆さんの詩を歌にしてくださいました。初めて放課後等デイサービスの子どもたちも参加してくれ、音楽を通して皆さんで楽しみました♪

- 自分の詩に曲をつけてもらって感動しました。夢が叶いました。(当事者)
- なおとさんのリードはもちろん、みなさんが詩やダジャレを寄せて、共に作って楽しんでおられるところが参加型で素敵だと思いました。(一般参加)
- 直人さんの演奏や歌が始まると身を乗り出したリリズムをとったり、楽器を鳴らしたりと自発的な参加が沢山見られました。(中略)読み取りが出来ないのですが、最後に音楽療法の楽しさを1～5で書いて貰うと、楽しさmaxの「5」を読み取れたのは嬉しかったです。(親)
- 音楽を通して皆で繋がれてよかったです。楽しむことが出来ました！指文字やってみたいです。(一般参加)

首都医校 交流会

共催：学校法人日本教育財団 首都医校
協力：新宿区社会福祉協議会

2014年に始まり11回目の今回、コロナ禍を経て4年ぶりに現地開催をすることができました。作業療法士科の学生さん7名に対して、こつこつからはメンバー5名が現地で、2名がZoomで参加しました。

初めに学生さんから自己紹介と『トリセツ』の感想を伝えてもらった後、メンバーの自己紹介を兼ねた○×△クイズで介助付きコミュニケーションの体験をしていただきました。恒例の「学生さんの質問に答えるコーナー」は、今回は書面で行いました。



- Q(学生): コミュニケーションがうまくいかなかった時、医療者に行ってほしい行動はありますか？
- A(当事者): お友達とのコミュニケーションが上手くいかなかった時のことを想像してみてください。伝えたい事が大切なことならば、工夫して伝える努力をしませんか？それは、お友達が理解し分かってくれると思っているからでしょう。私達も同じで、たとえどんな状態であろうとも理解できます。
私が一番大切だと思うことは、諦めずに相手に直接話しかけるということです。そうしてほしいです。その時に返事が良く分からなかったら、介助者に聞いてみたり、返事を想像して伝えてみてください。きっと通じ合えると思います。
- 私はもともと文字盤や手話などの手段は知っていたのですが、指談は初めてでとても良い経験になりました。特に指談の時に緊張してしまっただけで力が入ってうまく指の動きを感じることができず、難しかったです。このことから指談において、両者ともどれだけ力を抜いて行うことができるかが重要なのではないかと思います。今回、このような交流会を経験してコミュニケーションは会話だけでなくいろいろな形があるのだということを知ることができました。(学生)

成蹊大学 ボランティアプログラム 交流会

共催：成蹊大学ボランティア支援センター



Zoomで10名の学生さん、8名のメンバーが参加しました。それぞれ準備した自己紹介クイズをお互いに指名しながら進めた後、学生さんの質問に答える形で交流しました。

うち5名の学生さんは、後日行われた介助付きコミュニケーション練習会に参加くださり、直接体験してもらうことができました！

- 介助者さんとの相性や一緒にいる長さにより、読み取りにかかる時間は変わりますが、「この方法」の特に指筆談は自分が思っていたよりも遥かにスムーズに速いスピードで会話ができいて驚きました。また、指筆談をやりつつ、本当に自分が伝えたい部分は介助者さんが声に出したと同時に自分も声を上げていたりして、コミュニケーションの取り方である「この方法」は指筆談や文字盤だけでなく、声や顔の表情、動きなど様々なものを組み合わせた工夫が詰まったものなのだと分かりました。また、自分たちは意思のない何も出来ない人ではない。外国に行ったらみんなだって言葉を話せず、翻訳アプリなどを使ったりして会話することもあるでしょう、それがアプリではなく文字盤や指筆談に置き換わっているだけだ。という言葉聞いた時、本当にその通りで、環境が変われば障害の有無も関係なくなるのだと気付かされ、また、どこでもそんなふうには違いなどなくなる社会になれば良いなと思いました。(学生)
- 急に体が動いたり、声をあげたりすることは本人にも制御できないことであるのに、怖いという感情から関わってこなかったことに後悔した。無意識のうちに意思がないと決めつけ、障害のある人を傷つけていたと気付かされたからだ。今回障害のある人と交流することで、自分が抱えている重度の障害がある人へのイメージは間違いだと気づけてよかった。(学生)



普段から介助付きコミュニケーションを取り入れた日中活動を行っている通所施設から依頼があり、4年ぶりに出張講座を行いました。メンバーは電車や自家用車で横浜まで小旅行！参加して下さったメンバーの皆さん、ありがとうございました。テキスト制作委員会で作成したマイプロフィールを使って、メンバーが自身のコミュニケーション方法を説明した後、自己紹介の○×△クイズで&COCOの利用者さんと職員さん、こつこつのメンバー・支援者がごちゃ混ぜになり、介助付きコミュニケーションを楽しく練習しました。

〈職員さんから〉

- ・ 今まで苦手意識が強かったのですが、丸の曲線と直線の違いがわかりやすくて感動しました。
- ・ 難しく考えずにトライしていくことを学んだ。
- ・ &COCO以外のメンバーさんとの指文字体験ができてとても新鮮だった。
- ・ 普通の感覚でこの技法に取り組んでいることが知れて良かった。
- ・ ゲーム感覚で○×クイズができて補足の言葉も聞けたことで、間違いを恐れなくてよいと思えた。
- ・ &COCOのメンバーさんがすごくよい表情をしていた。当事者の声に触れて刺激になったようだ。

相談事業

知人の紹介や病院に置いてあったトリセツをきっかけに、9件の相談がありました。コロナが5類となったことで、事務所に来ていただくことができるようになり、お子さん2組、成人の方2組が相談にいらしていました。当事者メンバーや通訳支援者が複数で対応し、ご本人のコミュニケーション方法を探ったり、言葉を聞き取ったり、ご家族に介助付きコミュニケーションを体験していただきました。メールや電話等での相談は、トリセツや活動に関する問い合わせ、専門機関をご紹介するものなどでした。今後も必要な相談をお受けできるよう、体制を整えていきます。

サポーター派遣事業

「会場イベントに参加したいけれど、ヘルパーがいない」

「自宅から参加したいけれど、通訳者がいない」

「理事を務めたいけれど、家族の負担が大きい」

そんな声にできるだけ対応するために、ボランティアを当事者宅などに派遣する交通費や謝金をご寄付から支出させていただいています。

特に当法人にとって、当事者の理事を家族以外の支援者が秘書として支える仕組みを作ることは重要です。ボランティアはまだ不足していますが、今後も育成に力を入れていきます。

僕たちのように、なかなか文字を読むのが難しい人にとって、秘書ボランティアさんが来て活動に関して読み上げてくださったり説明して下さるのは、とてもありがたいことだと思います。そういう活動を続けていけたら、誰でも理事になって、“こつこつ”の活動を支えることができるようになると思います。また、家に来てくださることで、ゆっくり話すこともでき、秘書ボランティアさんとも仲良くなれて、より深く“こつこつ”と関わることもできるとも感じました。とても良い試みだと思います。これからも是非続けてください。

当事者理事 山岸正周

会計報告

2023年度 活動計算書

2023年6月1日～
2024年5月31日

◇経常収益

正会員35名、賛助会員のべ80名、寄付者のべ78名からご支援をいただきました。認定の基準（賛助会員＋寄付者で100名以上）は満たすことができたが、寄付総額は減少しています。

助成金は新宿区社会福祉協議会よりいただきました。詳細は9ページをご覧ください。

事業収益は、計画していたイベントの開催ができなかったことなどによる参加費の減収がありました。

◇経常費用

事業費は、イベントの際の講師謝金・会場費・抗原検査キット代・交通費・有償ボランティア謝金などに充てています。

有償ボランティア謝金の財源として、助成金の申請を行い、引き続き半期ごとに見直しをしています。

		(単位：円)	
科	目	金額	小計・合計
【A】 経常収益			
1	受取会費		638,000
	正会員入会金	0	
	正会員受取会費	350,000	
	賛助会員受取会費	288,000	
2	受取寄附金		1,628,033
	受取寄附金	1,628,033	
3	受取助成金等		200,000
	受取助成金	200,000	
	受取補助金	0	
4	事業収益		159,000
	(1) コミュニケーション支援を活用した生涯学習等に関する事業	43,000	
	(2) コミュニケーション支援の習得及び活用等に関する事業	32,000	
	(3) コミュニケーション支援の普及啓発に関する事業	77,000	
	(4) 多様な人々の交流に関する事業	7,000	
	(5) コミュニケーション支援に関する相談事業	0	
	(6) 参加者の送迎や介助を行うサポーターの派遣に関する事業	0	
	(7) その他目的を達成するために必要な事業	0	
5	その他の収益		25
	受取利息	25	
経常収益計			2,625,058
【B】 経常費用			
1	事業費		0
	(1) 人件費		0
	役員報酬	0	
	給料手当	0	
	法定福利費	0	
	(2) その他経費		2,099,300
	会議費	18,040	
	旅費交通費	243,600	
	通信運搬費	119,605	
	消耗品費	504,621	
	印刷製本費	4,758	
	修繕費	0	
	諸謝金	349,000	
	ボランティア謝金	458,000	
	協力者謝礼品費	0	
	新聞図書費	0	
	会場費	29,950	
	諸会費	3,000	
	業務委託費	0	
	賃借料	0	
	保険料	16,334	
	地代家賃	324,000	
	研修費	0	
	保守料	9,801	
	支払手数料	18,591	
事業費計			2,099,300
2	管理費		0
	(1) 人件費		0
	役員報酬	0	
	給料手当	0	
	法定福利費	0	
	(2) その他経費		660,437
	会議費	41,278	
	旅費交通費	51,048	
	通信運搬費	77,598	
	消耗品費	46,610	
	印刷製本費	24,950	
	修繕費	0	
	諸謝金	10,000	
	ボランティア謝金	293,000	
	協力者謝礼品費	3,953	
	新聞図書費	1,254	
	会場費	0	
	諸会費	0	
	地代家賃	36,000	
	研修費	7,000	
	保守料	39,589	
	慶弔費	0	
	租税公課	2,250	
	支払手数料	25,907	
管理費計			660,437
経常費用計			2,759,737
当期経常増減額【A】－【B】・・・①			-134,679
【C】 経常外収益			
	固定資産売却益	0	
	過年度損益修正益	0	
経常外収益計			0
【D】 経常外費用			
	固定資産売却損	0	
	災害損失	0	
	過年度損益修正損	0	
経常外費用計			0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②			0
税引前当期正味財産増減額①＋②・・・③			-134,679
	法人税、住民税及び事業税・・・④		0
	前期繰越正味財産額・・・⑤		4,915,417
次期繰越正味財産額③－④＋⑤			4,780,738

2023年度 貸借対照表

		2023年5月31日 現在 (単位：円)	
科	目	金 額	小計・合計
【A】 資 産 の 部			
1	流動資産		
	現金預金	4,902,502	4,967,448
	未収金	0	
	前払費用	64,946	
	流動資産合計・・・①		4,967,448
2	固定資産		0
	(1) 有形固定資産		0
	(2) 無形固定資産		0
	(3) 投資その他の資産		0
	固定資産合計・・・②		0
【A】 資 産 合 計 ①+②			4,967,448
【B-1】 負 債 の 部			
1	流動負債		
	未払金	6,710	186,710
	前受金	180,000	
	預り金	0	
	流動負債合計・・・③		186,710
2	固定負債		0
	固定負債合計・・・④		0
負 債 合 計 ③+④			186,710
【B-2】 正 味 財 産 の 部			
	前期繰越正味財産額		4,915,417
	当期正味財産増減額		-134,679
正 味 財 産 合 計			4,780,738
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】			4,967,448

◇監査報告

監事の藤本氏・佐藤氏により、2024年7月15日に事務所にて業務監査及び会計監査が行われ、適正であるという監査報告書の提出を受けました。

7期 賛助会員・寄付者の皆さま

※敬称略

Ken Nishikawa	大野 伸子	笹本 健	中山 和子
青島 隆司	小河原 ナホミ	鮫島 正純	長谷川 栄
青田 亜希子	沖田 由紀子	澤入 利夫	原田 啓子
阿久津 考功	長 慎吾	柴田 愛乃	廣瀬 誠子
浅野 加津子	柿沼 浩三	柴田 奈苗	深野 せき子
浅見 京子	金井 俊潔	柴田 保之	藤澤 恵子
浅見 英男	兼重 崇子	清水 香名子	藤野 篤子
足立 俊子	菅家 肇	下田 尊子	藤本 佳子
居駒 洋子	北川 啓子	春藤 かづ子	古米 弘幸
伊藤 圭子	木原 雅子	末富 光子	松崎 貴史
伊藤 淳一	木原 雄一郎	鈴木 達也	松田 梓
伊藤 洋子	清宮 和也	鈴木 敏子	松本 由佳
今井 康之	清宮 孝子	園江 治	明珍 崇彦
岩井 英彦	工藤 綾子	高須 照美	村野 俱子
岩瀬 亜希子	久米 隼	高橋 千恵子	村山 佳代子
上 瀧 大	栗原 和子	竹口 ひかり	森安 英憲
上野 文子	栗本 昌英	竹口 裕子	山岸 正周
植村 玲子	木庭 新治	武山 幸生	山岸 正典
内倉 豊	木庭 毅人	田中 淳子	山田 裕子
内田 智子	小林 恵美	田中 久子	山中 亜紗美
内田 信子	小松 真美	田中 宏美	吉川 真知子
海老原 麻里子	五島 朋幸	辻 明典	吉村 磯孝
大津 万喜子	佐川 麻衣	寺島 京子	渡邊 健一
大塚 文子	佐々木 幸司	中込 美和	(株)埼京エンジニアリング 金安敦
大野 鷹	佐々木 弥生	中村 典子	ハナミズキの会 基金

*他にもたくさんの方よりご支援をいただいております。

*年間100人以上からのご寄付をいただくことで、認定NPO法人として活動を行うことができます。

本当にありがとうございます。

***2022年8月23日以降の「寄附金受領証明書」は、認定NPO法人への寄付として、確定申告の際に提出することで税制上の優遇措置を受けられます。**

助成金等お世話になった皆さま

※敬称略

◆東京都共同募金会「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない」
における福祉活動応援助成・・・抗原検査キット・会場費として

◆社会福祉法人新宿区社会福祉協議会
・・・よりみちオンラインコンサート後援名義

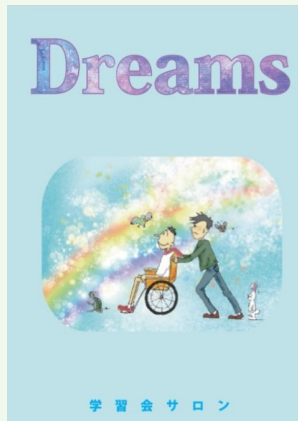


書籍紹介

皆さまからのご寄付や助成金により、無料でお届けすることができます。

お手元にある方はぜひ読み返していただき、まだお持ちでない方はお申込みいただいて、周りの方へ理解の輪を広げていただけたら幸いです。お知り合いの方や施設などへ直接お届けすることもできます。

お申込みは以下のGoogleフォームのほか、事務局info@kotsu2.or.jpまで。



前身の「学習会サロン」時代に制作した、メンバー16名の作品集(2016年)

ようやく「Dreams」が完成しました。

私たちの夢がいっぱい詰まった一冊になりました。

「Dreams」というタイトルは、今までの夢の実現でもあり、これからも夢を追いかけていこうという私たちの思いが込められています。

完成まで、たくさんの人にお世話になったことに感謝しています。

皆さんに読んで頂けたら嬉しいです。

これからも応援よろしくお願いいたします。

学習会サロン一同

フルカラー64ページ、前理事・佐々木幸司さん渾身の広報誌(2019年)

任意団体「学習会サロン」から、NPO法人こつこつを設立した2018年までの活動を写真満載でご紹介しています。特集として、ポーランド映画『幸せのありか』上映と、13人のメンバー登壇によるシンポジウムを行った設立記念イベントの様子を16ページにわたって掲載しています。こつこつのことをまだ知らない方にお届けすることで、知るきっかけにいただけたら幸いです。

Googleフォームからお申込み→



発話が難しい人の気持ちを知りたい!という方に読んでほしい(2020年)

「私たち」の思いをたくさんの人に知ってもらいたいという目的で制作された、介助付きコミュニケーション方法のテキストです。「思いと身体はまるで正反対」といった当事者の生の声や、「私たち」から介助者のみなさんへのメッセージ、Q&Aなど盛りだくさんの内容になっています。

「病院に置いてあったことでこつこつを知った」と連絡をくださった方もいらっしゃいました。

Googleフォームからお申込み→



やまゆり園事件を過去にしない、前理事・大野剛資さんの冊子(2024年)

津久井やまゆり園で19人の命が奪われたのは2016年のことです。発話が難しい人は意思がない、意思疎通ができないと判断されてしまうことは、まだまだ珍しいことではありません。

もう二度とやまゆり園事件のようなことが起こってほしくないという思いで、仲間たちと語り合ってきたことを8年かけてまとめた一冊です。個人の制作(自費)ですが、こつこつのメンバーも寄稿し、当法人に寄贈いただきましたので、関心のある方へお送りします。



今後の活動予定

○10月5日(土) 視線入力勉強会(個別指導・eゲーム大会) @落合第一地域センター&Zoom

○11月17日(日) 当事者研究 @新宿NPO協働推進センター&Zoom

○2月16日(日) 世界は今! vol.8 @Zoom

※感染症の流行などにより、開催を中止・延期する場合があります

日程未定

- ・てつがくカフェ
- ・介助付きコミュニケーション練習会
- ・テキスト制作委員会
- ・住まい自立勉強会
- ・竜馬さんヴァイオリンコンサート
- ・よりみちオンラインコンサート

活動の予定をお知らせします

メーリングリスト・ホームページのカレンダー
Facebook・X(旧Twitter)・LINE



ぜひ登録・フォローしてください！

LINEの
友達追加は
こちらから



*2024年度の事業の多くは、以下の助成金をいただいて運営します

【令和6年度キリン・地域のちから応援事業】【令和6年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業】



8期の役員について

◆就任

理事:浅見 好香、足立 俊子、大谷 美聡(新)、木村 秀太(新)、里見 英則、里見 見千子、中山 和子、
三浦 喜美子、山岸 正周

監事:佐藤 一樹、藤本 佳子

◆退任

早いもので、こつこつは8期目を迎える事ができました。

今まで理事を勤めさせて頂きましたが、コロナ禍もあり母の体調が悪く、あまり負担をかけたくないので理事を退任する事にしました。幸いにも若い人達が理事を勤めてくれる事になり、安心して退任する事ができます。これからは、一会員として出来る範囲でこつこつの活動に参加するつもりです。皆さんの力を結集して少しでも世の中を変える事が出来ると信じて、進んでいけたら良いと思います。どうも有り難う御座いました。

当事者理事 大野 剛資 (通訳支援:日下部 洋介)

振り返ると本当に充実した日々を過ごしてきたと感じています。みなさんと共に学んだことは、とても良い経験になりました。

こつこつのミッションとビジョンは、誰でも叶えることができる素晴らしいメッセージです。これからも障害のないふれあいが、当たり前の社会になっていくことを楽しみにしています。

今まで本当にありがとうございました。

理事 佐々木 幸司

両氏ともに退任後もできる範囲で伴走してまいります。8期もどうぞよろしくお願いいたします。

ボランティア・アルバイト募集！

今年度、助成金で初めてアルバイトを雇用することができ、イベント運営を支えていただいています。それでもまだまだ、事業運営や会計作業を担うスタッフ・ボランティアが足りない状況です。継続して支えたいと思ってくれる方がいらっしゃいましたら、お気軽に事務局までご連絡ください。

ご支援のお願い

認定NPO法人こっこつは、皆さまのご寄付により活動を行っています。

活動にご賛同いただける方は、賛助会員(年会費1口3,000円 個人1口／団体3口～)として、ぜひ継続して応援いただけると幸いです。もちろん随時のご寄付もありがたく、励みになります。

2022年8月23日に東京都から認定NPO法人として認められ、以降2027年8月22日まで、当法人への賛助会費・寄付は寄付金控除の対象になります。

法人としてのご寄付は、損金算入限度額の枠が拡大されます。ぜひご検討ください。

①銀行振込

口座名 NPO法人こっこつ／トクヒ)コツコツ

ゆうちょ銀行から 00100-8-265697

他銀行から ゆうちょ銀行／〇一九(ゼロイチキュウ)店／当座／口座番号0265697

お手数をお掛けしますが、送金時のメッセージ欄やメール等で以下をご連絡ください。

・お名前(ふりがな) ・ご住所(個人は自宅／団体は事務所) ・賛助会費／寄付

※報告書等へのお名前の掲載や郵送物を希望されない場合は、併せてお知らせください

②クレジットカード

Syncable(シンカブル)という寄付サイトを利用しています。



継続してのご支援をお考えの方は、毎年自動で決済をする設定にもできます。ぜひご検討ください。

賛助会員→



年会員になる



寄付→



寄付する



※賛助会員をご希望で「寄付する」からご支援いただいた方は、お手数ですがご一報ください。

※システム上、受領日は翌月、寄付金受領証明書の郵送は翌々月になります。確定申告にお使いになる際はご注意ください。



ミッション(果たすべき役割)

障害があり発話が難しくても意思があり、
言葉を伝える方法があることを社会に広める

ビジョン(実現したい社会)

見た目では判断されず、誰もが人として意思を尊重される社会

認定NPO法人こっこつ

2024年9月吉日発行

理事長 里見 見千子

Tel/Fax 03-5937-0086

E-mail info@kotsu2.or.jp

HP <https://kotsu2.or.jp>